「職場」を「最高の学びの場」へ変革する

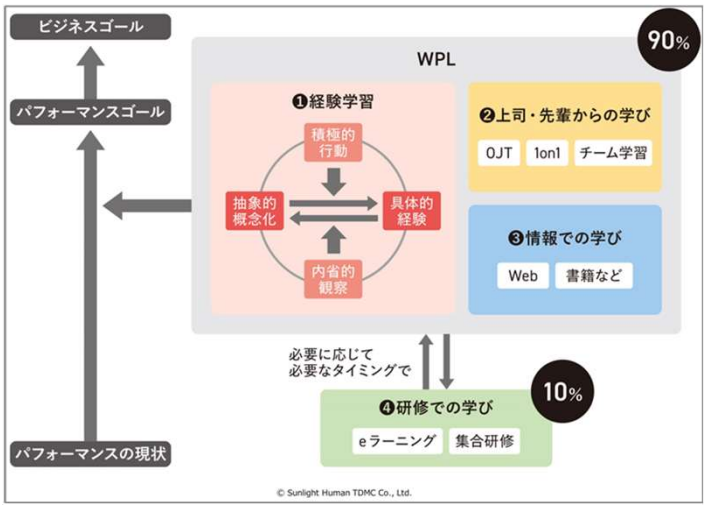
WPLデザイナー®
WPLマネジャー®
養成プログラム

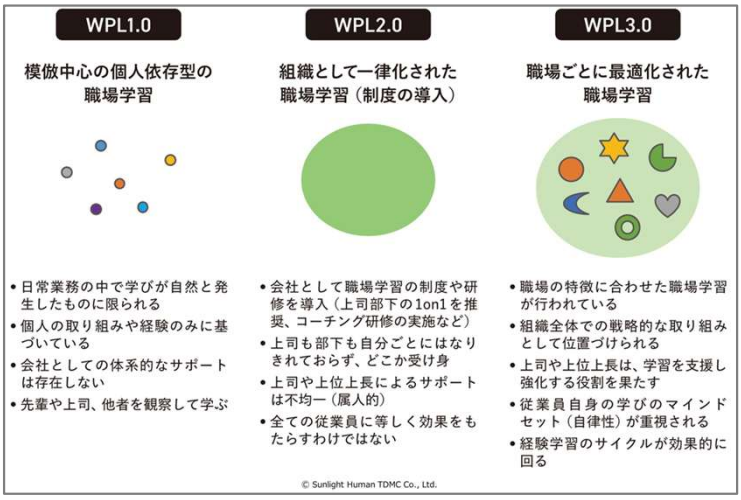
「研修設計は改善されたけど、現場の行動変容や成果に繋がりづらい」
「社員の自律的な学びが進まない」
「現場の管理職を巻き込んだ育成がうまくいかない」
そんなお悩みはありませんか？

本プログラムは、「職場そのものを学びの場に変える」という、これからの人財育成の鍵となる
「WPL／ワークプレイスラーニング」の仕組みを、貴社で実践できるようになるためのプログラムです。

WPL3.0とは

ワークプレイスラーニング（Workplace Learning/WPL)とは、「個人や組織のパフォーマンスを改善する目的で実施される学習とその他の介入の統合的な方法」（Rothwell & Sredl(2000)のことです。
WPLの概念は、下図のように、WPL1.0、WPL2.0、WPL3.0の3段階に分けられると私たちは考えています。
書籍「WPL3.0」では、特に「WPL3.0」の世界、不確実な未来において活躍できる人財が育つように、個々人の自律的な学習を引き出す「経験学習」をベースとした職場ごとに最適化された学習支援が行われている状態の必要性と目指すための方法を具体化しています。





WPLデザイナー® / WPLマネジャー®養成プログラム

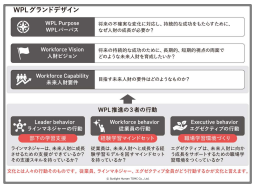
本プログラムは、不確実なビジネス環境下で組織のパフォーマンスを向上させ、未来に活躍できる人財を育成するための職場学習環境を設計する「WPLデザイナー」と、そのデザインを実行する「WPLマネジャー」を養成することを目的とします。WPLの理論、フレームワーク、実践ツールの活用方法を体系的に学び、自社の職場環境に合わせたWPLデザインの策定から実行、評価、改善までの一連のプロセスを習得します。

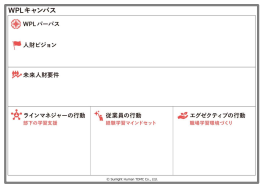
実行とモニタリング

WPL戦略の実行に責任を持ち、エグゼクティブや1st・2ndラインマネジャーと連携しながら具体的な施策を推進し、組織全体に学習文化を醸成する役割

戦略とプログラムの設計

WPL戦略を体系的に設計し、職場ごとのニーズに合わせてカスタマイズされた支援策と評価フレームワークをデザインする役割





プログラムの全体像と認定ロードマップ

本養成プログラムは3つのSTEPで構成されています。
STEP❶の基礎講座での理論理解とケーススタディを経て、STEP❷・❸では実際の貴社組織での導入プロジェクトをサンライトヒューマンTDMC（SLH）のコンサルタントの支援のもと推進し、推進役の養成と資格認定を行います。
なお、STEP❶修了後に貴社における最適な導入方法・スケジュールを個別にご相談の上、次のSTEPへ進めていただけます。

	STEP❶ 理論理解とケーススタディ	STEP❷ WPL3.0準備・設計	STEP❸ WPL3.0実践振り返り
WPL デザイナー	WPLデザイン® 基礎講座	プロジェクト支援コンサル WPLデザイナー® 認定	
WPL マネジャー	WPLデザイン® 基礎講座	設計はWPLデザイナーが 責任を担う	プロジェクト支援コンサル WPLマネジャー® 認定 ※WPLデザイナーが 支援することを条件とします
WPL デザイナー &WPL マネジャー	WPLデザイン® 基礎講座	プロジェクト支援コンサル WPLデザイナー® 認定	WPLマネジャー® 認定

各STEPの特徴

1 ツールを活用したリアルな擬似体験

現場展開時に起こりうる「壁」や交渉プロセスをケーススタディを通じてシミュレーションします。現場と対話するための即実践可能な手法やツールを持ち帰ることができます。

【受講者の声】

「本だけでは分からない」ところがケースを通じて解像度があがりました」「ツール作成を通じて、1stラインおよび2ndラインマネジャー、人財育成担当者の役割が明確になりました」

2 「貴社の職場」を分析・設計

ご自身の職場を1か所選定しWPLデザインを行います。現状把握から従業員・マネジャーの具体行動変容プラン策定まで、SLHの伴走のもと実態に即した学習支援の仕組みを完成させます。

【受講者の声】

「調査結果が現場での対話ツールになることを実感しました」「設計中に生じた悩みや迷いを即解決することができました」

3 実践家による実行支援

策定したWPLデザインを実際の現場で運用・実行します。現場でのモニタリングや生じる壁の打開、効果検証までを伴走支援し、貴社内で自走するWPLの仕組みを定着させます。

【受講者の声】

「現場でプロジェクトを回す中でコンサルタントの方が継続的に伴走・フィードバックしてくれたため、試行錯誤しながらも現場に即したWPLの仕組みを定着させることができました」

STEP❶理論理解とケーススタディ（WPLデザイナー® / WPLマネジャー® 共通）

WPLデザイン基礎講座

学習目標

ケーススタディを通じて、以下の学習目標が達成されます。

【Day1】

職場（ファーストライン）の責任者であるラインマネジャーの立場に立って、WPLデザイン（現状分析、目標設定、施策検討）をする中で、WPLの中核を為す経験学習を効果的に回すために必要なことの理解と方法を習得できます。

【Day2】

ラインマネジャーを支援するセカンドラインマネジャー、組織全体の職場学習を支援するWPLデザイナーの立場に立って、組織全体（主にセカンドライン）の職場をイメージしながらWPLデザインや運用を検討する中で、WPLプロジェクトを回すための考え方や方法を習得できます。

事前課題

本講座では、受講前に事前課題に取り組んでいただきます。

目的：

書籍『**WPL3.0**』の内容を「自分ごと化」し、対面講座でのケーススタディやワークにスムーズに接続できるようにします。

また、自社・自部門における職場学習の現在の”課題感”の解像度を高めます。

内容：

課題レポート作成　A4 1枚程度

集合研修アジェンダ

講師からのインプット、個人ワーク、ペアワーク、グループワーク、全体討議などを組み合わせた参加型プログラムとなっています。

Day1　9:30－18:00＋交流会	
イントロダクション	目的、進め方、事前課題の共有
WPLデザインとは	職場の定義、WPL推進の全体像
【ケーススタディ❶】 1stラインマネジャーの目線でのWPLデザイン	
現状分析	ケースインプット❶
職場の施策検討	従業員の職場学習を推進する施策の検討
戦略のまとめ	1stラインマネジャーが描くWPL戦略
経験学習の整理	ツールを用いた振り返りのポイント
【ケーススタディ❷】 2ndラインマネジャーの目線でのWPLデザイン	
メッセージ伝達	WPL推進の“Why”を語るワーク
現状分析	ケースインプット❷
Day1ラップアップ	
交流会	

Day2　9:30－17:30	
【ケーススタディ❷】 2ndラインマネジャーの目線でのWPLデザイン	
職場の施策検討	職場学習の環境づくり
戦略のまとめ	2ndラインマネジャーが描くWPL戦略
経験学習の整理	マネジャーとしての振り返りのポイント
【ケーススタディ❸】 WPLデザイナーによる統合WPLデザイン	
自分事化ワーク	自組織への適合
戦略の統合化	「WPLキャンバス」の活用
WPLプロジェクトプラン	3か年計画、マクロスケジュール
WPLデザイナーの心得とSTEP2ガイダンス	CBT受験およびSTEP2の個人プロジェクト（WPL調査・デザイン策定）に向けた具体的なガイダンスと質疑応答
総合リフレクション	

STEP❶理論理解とケーススタディ（WPLデザイナー® / WPLマネジャー® 共通）

WPLデザイン基礎講座

開催概要

日程	**【第4期】 12/17（木）-18 （金）** **【第5期】 2027年 2/24（水）-25（木）** **※Day1 9:30-18:00＋交流会、Day2 9:30-17:30**	**会場**	**SLH研修室** 東京都千代田区
対象	**事業推進・経営企画・事業部門のリーダー層** **および人材育成/開発部門、人事・教育部門の方** ※管理職・リーダー相当以上の経験がある方、または組織推進を担う方	**定員**	**12名** 最少催行人数 6名
参加費用	**特別割引 247,500円（税込）** ※定価 275,000円（税込） ※テキスト、書籍代、交流会費用、CBT受験等すべてを含みます		

講師紹介

Morita Akiko
森田 晃子

サンライトヒューマンTDMC株式会社
代表取締役社長＆CEO
熊本大学大学院 教授システム学専攻
非常勤講師

教授システム学修士/
インストラクショナルデザイナー、
compTIA CTT+Classroom Trainer

Nozoe Kouji
野添 晃司

サンライトヒューマンTDMC株式会社
常務執行役員＆COO

日本評価学会認定評価士、 Prince2
認定コーチ、認定アクションラーニングコーチ、
compTIA CTT+Classroom Trainer、
compTIA CTT+Virtual ClassroomTrainer

Ishizu Maho
石津 茉歩

ディレクター/ラーニングプロセスコンサルタント

教授システム学修士/インストラクショナルデザイナー、
国家資格キャリアコンサルタント、ワークショップデザイナー

Hayakawa Katsuo
早川 勝夫

シニアアドバイザー/ラーニングプロセスコンサルタント

教授システム学修士/インストラクショナルデザイナー、
認定アクションラーニングコーチ、コンプライアンスオフィサー

認定基準

以下の条件を満した方に「修了証」がオープンバッジで発行されます。

■条件

❶WPLデザイン®基礎講座 受講
❷WPLデザイン®基礎講座 CBT試験の合格

■修了証明

「WPL Design Basic」（一般社団法人ラーニングプロセスデザイン協会による認定）
※「WPLデザイナー®」「WPLマネジャー®」資格取得への必須要件となります

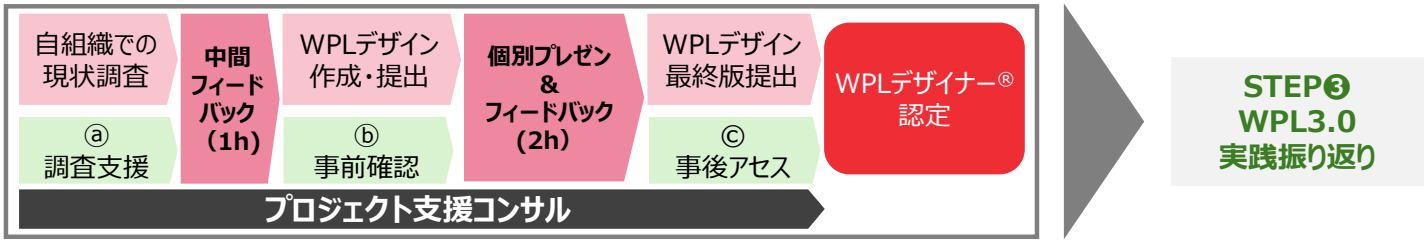
お申込み方法

以下のURLより詳細をご確認の上、お申し込みください。
https://ws.formzu.net/dist/S58366473/

STEP❷WPL3.0準備・設計

WPLデザイナー®認定

❷WPL3.0準備・設計フェーズは、貴社のリアルな職場（1か所を選択）へのWPL3.0導入プロジェクトの準備・設計フェーズです。プロジェクトを通して、WPLデザイナー®を養成します。
SLHは、WPLデザイナー養成とともにプロジェクト支援コンサルティングを担います。



WPLデザイナー®としての主要実践内容

本フェーズは、単なる座学ではなく自社のリアルな職場を対象とした実務プロジェクトとして推進します。WPLデザイナー認定対象者は、以下の主要職務を主体的に遂行し、自社におけるWPL推進の仕組みを完遂させます。

- 現在のWPL基準値を把握・分析
- 自社が目指す人財像、WPLパーパスと人財ビジョンを策定する
- WPL推進の4要素（人財の能力要件／従業員の行動／ラインマネジャーの行動／エグゼクティブの行動）に関する具体指標の決定
- 上記を統合したWPLキャンバス、アクションマップ、スケジュールの完成および社内運用設計

プログラム詳細

プロジェクトでの実践活動・遂行内容		SLHによるご支援・伴走
1.プロジェクトの準備と職場選定	・WPLを推進する１職場（部署・チームなど）を選定 ・WPLストラクチャを用いて対象を明確化 ・上司/責任者の承認を得る	ⓐWPL調査アンケートフォームの提供や集計のご支援、質疑応答
2. 調査・現状分析	・選定した職場でWPL調査実施	
3. WPLデザイン策定	・WPLデザインシート一式作成 ・プロジェクトプラン作成	ⓑ個別プレゼンテーションに向けて提出されたWPLデザインの確認
4. 発表会と質疑応答	・自社で策定したWPLデザインを発表 ・発表後、講師陣からの質疑応答とフィードバック	プレゼンテーション内容に対するフィードバックと解説
5. WPLデザイン修正	・フィードバックを踏まえてWPLデザイン修正	ⓒ提出された最終版のWPLデザインシートおよび最終レポートをアセスメントし、認定する
6. 認定	・認定基準に基づき、総合的な評価を実施し、合格者には「WPLデザイナー認定証」を発行	

認定基準

以下の条件を満した方に認定証がオープンバッジで発行されます。

■条件

前提条件： WorkPlace Learning Design Basicのバッジを取得
❶WPLデザイナー® / WPLマネジャー®養成プログラムSTEP2受講
❷所属組織の育成課題に対してのWPL戦略策定のプロセスが、求められる認定水準に到達していること

■認定証明

WPLデザイナー®
（一般社団法人ラーニングプロセスデザイン協会による認定）

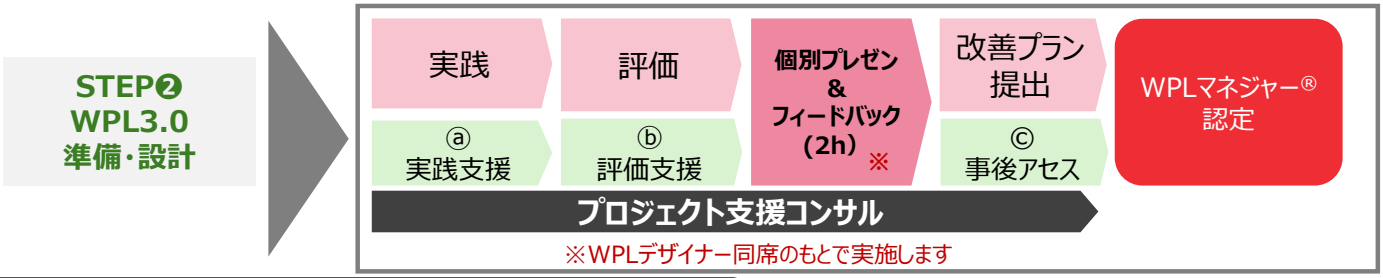
概要

実施期間：1-2か月
※貴社の状況に合わせて、開始・終了時期をご相談（原則WPLデザイン®基礎講座終了後、半年以内に終了）

費用：440,000円（税込み）
※WPL3.0導入プロジェクト支援（設計まで）
※WPLデザイナー®認定料
※WPL調査費用
※社内啓蒙用資料ダウンロード
をすべて含みます。

STEP❸WPL3.0実践振り返り
WPLマネジャー®認定

❸WPL3.0実践振り返りフェーズは、WPLデザイナーが策定したWPLデザインに基づき、実際の現場で施策を確実に実行・運用し、組織内にWPLの仕組みを定着・稼働させるフェーズです。プロジェクトを通して、WPLマネジャー®を養成します。SLHは、マネジャー養成とともにプロジェクト支援コンサルティングを担います。（WPLデザイナーが支援することを条件とします）



WPLマネジャー®としての主要実践内容

本フェーズは、策定されたWPLデザインを現場で確実に実行・定着させる実践型OJTです。WPLマネジャー認定対象者は、WPLデザイナーと共働し、現場の指揮を執り、以下の実務を主体的に遂行し、WPL施策が現場で実際に回っている状態を作り上げます。

- 1st・2ndラインマネジャーおよび現場メンバーへの落とし込みと巻き込み
- WPL施策の現場における運用・実行統括
- 運用状況のモニタリングと、現場で生じる壁（抵抗・停滞）の打開・軌道修正
- 施策の成果検証と、次期に向けた自走運用の仕組み化

プログラム詳細

プロジェクトでの実践活動・遂行内容		SLHによるご支援・伴走
1. 実行体制構築	・WPLデザインに基づく推進スケジュールの調整および体制構築	ⓐ現場実行における推進体制・スケジュール調整のアドバイスおよび質疑応答（1時間程度）
2. 現場での施策実行	・WPL施策の運用と日常業務への組み込み	
3. 運用モニタリングと検証	・進捗状況および定着度のモニタリング・データ収集 ・現場で発生した停滞要因・ギャップの特定と改善アクション実行	ⓑアンケートフォームの提供や集計のご支援
4. 発表会と質疑応答	・現場での実行プロセス、成果および課題のプレゼンテーション ・発表後、講師陣からの質疑応答とフィードバック	プレゼンテーション内容に対するフィードバック
5. 改善プラン策定	・フィードバックを踏まえた運用の仕組み化および改善計画作成	Ⓒ最終レポート（成果・検証結果・改善プラン）をアセスメントし、認定する
6. 認定	・認定基準に基づき、総合的な評価を実施し、合格者には「WPLマネジャー認定証」を発行	

※WPLデザイナーにもSTEP❸のプロアセス全体に関わっていただくことで、WPLデザイナーの実践力を高めるフォローアップ機会としてもご活用いただけます

認定基準

以下の条件を満した方に認定証がオープンバッジで発行されます。

■条件

前提条件： WorkPlace Learning Design Basicのバッジを取得
❶WPLデザイナー® / WPLマネジャー®養成プログラムSTEP3受講
❷現場マネジメント層へのWPL導入・定着支援の実践水準および伴走者として求められる認定水準に到達していること

■認定証明

WPLマネジャー®
（一般社団法人ラーニングプロセスデザイン協会による認定）

概要

実施期間：2-4か月

※貴社の状況に合わせて、開始・終了時期をご相談（原則WPLデザイン®基礎講座終了後、半年～1年以内に終了）

費用：660,000円（税込み）

※WPL3.0導入プロジェクト支援（実行・検証まで）
※WPLマネジャー®認定料
※効果検証・モニタリングツール活用サポート
※社内啓蒙用資料ダウンロード
をすべて含みます。

会社紹介　サンライトヒューマンTDMC

SUNLIGHT HUMAN TDMC
slhtdmc.co.jp

サンライトヒューマンTDMCは、
「持続的に成長する人と組織」を創り上げるための企業内教育を、
独自の**BID（Business Instructional Design®）**と
WPLデザイン®（Workplace Learning Design）
メソッドに基づき、貴社のニーズにオーダーメイドでご支援いたします。

WPL3.0 コンサルティングサービスメニュー

WPLデザイナー・WPLマネジャー養成に加え、貴社におけるWPL導入プロジェクトの確実な推進と、全社的な職場学習文化の定着・自走化を実現するための各種サポートメニューをご提供しています。

コンサルティング

- **職場学習導入支援**
  （仕組や運用設計、ワークショップファシリテーション等）
- **人財軸の組織開発支援**
  （組織設計、職務や能力要件の見直し　等）

トレーニング

- **マネジャー向けトレーニング**
  （戦略立案、職場学習マネジメント、部下育成プラン設計、会議運営等）
- **営業職/技術者トレーニング**
- **トレーナーズトレーニング**

アセスメント

- **マネジャー層スキルアセスメント**
  （戦略立案スキル、会議設計＆ファシリテーション、部下アセスメント、フィードバック＆コーチング等）
- **営業担当者スキルアセスメント**
- **教育担当者スキルアセスメント**

コンテンツ開発

- **各種ガイドやマニュアルの開発**
  （1on1ガイド、会議ファシリガイド等）
- **評価・育成の指標やツールの開発**
- **研修パッケージ、eラーニングコンテンツ開発**

WPLデザイナー® / WPLマネジャー®養成プログラムについて

STEP❶　WPLデザイン基礎講座のお申込
以下のURLより詳細をご確認の上、お申し込みください。
https://ws.formzu.net/dist/S58366473/

今後の開講スケジュール
以下のサイトで順次ご案内させていただきます。
https://www.slhtdmc.co.jp/labo/bid/wpl-course/

お問合せ　TEL：03-5577-2251　/　MAIL：manabu@slhtdmc.co.jp

SUNLIGHT HUMAN TDMC
slhtdmc.co.jp

サンライトヒューマンTDMC株式会社
東京都千代田区神田錦町1－16－1 いちご神田錦町ビル10階
TEL: 03-5577-2251
MAIL: info@slhtdmc.co.jp
HP: https://www.slhtdmc.co.jp/